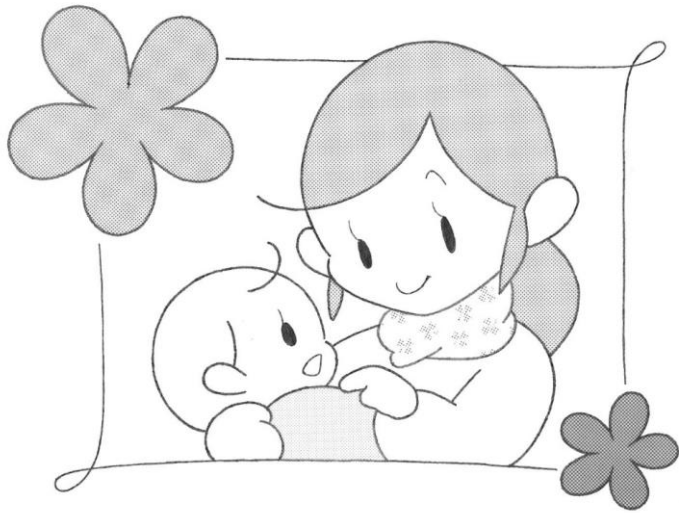


ご家族のみなさんへ

赤ちゃんのことば

新生児聴覚スクリーニングで
「要再検査」を伝えられたご家族の方へ



長野県難聴児支援センター

赤ちゃんのお誕生、おめでとうございます。

これまでの妊娠期間、大きくなっていくおなかを摩りながら「待ってるよ」とつぶやき、小さな命を育ててこられたことと思います。

そんな中で、

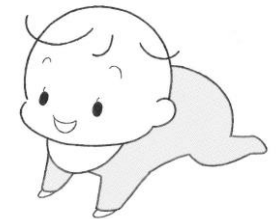
「きこえについてももう少し詳しい検査を受けましょう」

と、知らされることは、大変にショックなことかもしれません。

「きこえについて」をインターネットで調べ、たくさんの情報に戸惑い、心が不安でいっぱいになってしまったりすることもあるかと思います。

「要再検査」と告げられたことは、どんな検査をして、どんな結果だったのか。この先の流れはどうか。

まずは検査や今後の流れについて学んでいきましょう。



新生児聴覚スクリーニング について



1. 新生児聴覚スクリーニングとは

この検査は、生まれて退院までの間に行ないます。眠っている赤ちゃんに機械で音を聞かせて、脳波などを調べます。赤ちゃんは何の痛みも感じませんし、副作用もありません。この結果、「要再検査」であれば、専門の病院で詳しく調べる必要があります。

どうして「きこえの検査」が必要なの？

人は1歳半ごろで簡単なことば（単語）を、2歳までに2～3語続いたことばを話すようになり、3歳半までには不完全ながら日常的なやりとりができるようになります。この間、子どもたちがことばを学ぶ方法は「聞いて、まねて、使って」身につけていきます。

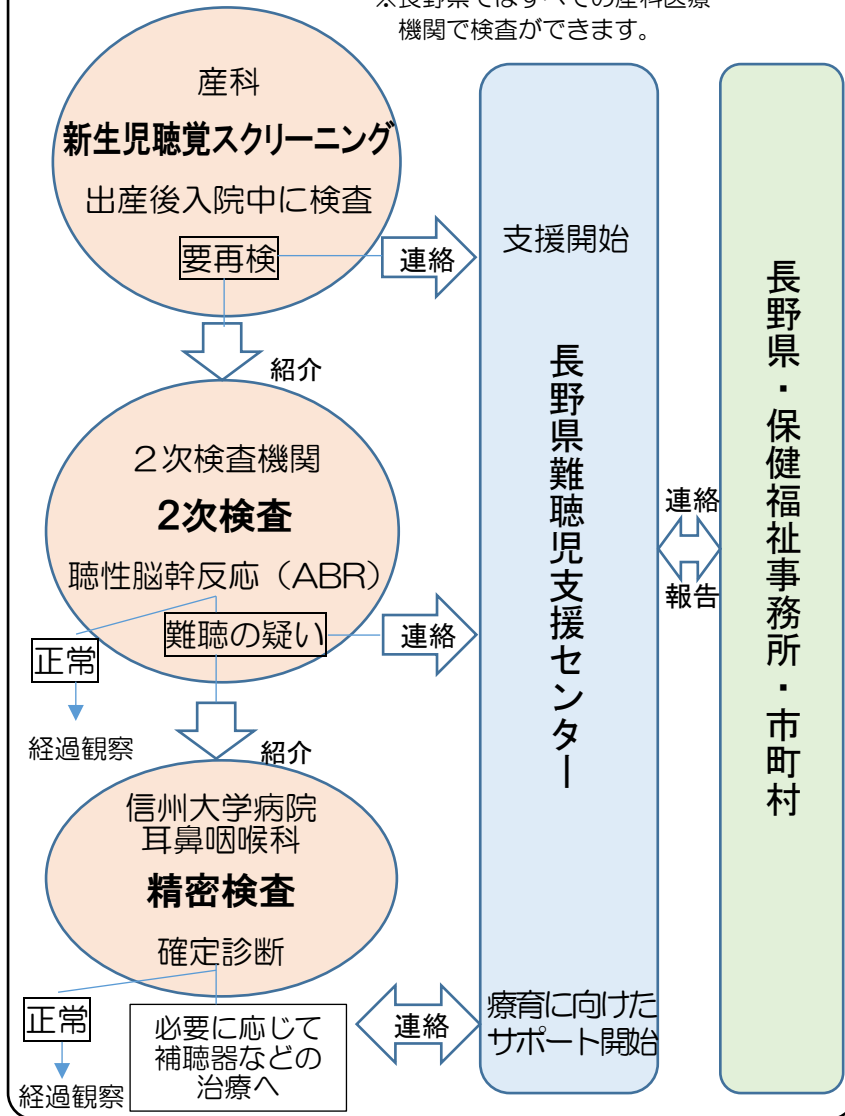
新生児聴覚スクリーニングを行わなかった場合は、2～3歳まで気づかれないことが多く、これではことばの習得に大事な時期を逃してしまいます。

見逃されがちな「きこえ」についての情報を早く正しく知ることによって、お父さんお母さんが安心して、赤ちゃんに必要なかわりを始めることができます。



長野県新生児聴覚検査の流れ

※長野県ではすべての産科医療機関で検査ができます。



2. 「要再検査」と言われたら

要再検査という結果は、「今回の検査では『ささやき声程度』の音に反応しなかった」ことを意味しています。すぐに耳が聞こえていないと判断できるものではありません。今回の検査では1000人のうち4～5人が精密検査を勧められますが、実際に難聴の治療が必要な赤ちゃんは、1000人のうち1～2人とされています。

どこで、どんな検査をするの？

産院より紹介されたお近くの「2次検査機関」で耳鼻科の先生から耳の診察を受けてから、聴性脳幹反応 (ABR) という検査を行います。赤ちゃんが眠った状態（多くは鎮静剤を使います）で、頭に電極を貼り、音をヘッドホンからきかせて、脳波が検出できるかをみる検査です。他にも、OAE、ティンパノグラムなどの簡単な検査をすることがあります。

この検査の結果、難聴が疑われる場合、精密検査機関（信州大学附属病院耳鼻科）へ紹介となり、さらに詳しい脳波の検査 (ASSR) などを生後3か月を目安に行います。



長野県2次検査機関の耳鼻咽喉科

病院名	住所	電話
佐久総合病院佐久医療センター	佐久市中込 3400-28	0267-62-8181
浅間総合病院	佐久市岩村田 1862-1	0267-67-2295
信州上田医療センター	上田市緑が丘 1-27-21	0268-22-1890
岡谷市民病院	岡谷市本町 4-11-33	0266-23-8000
諏訪赤十字病院	諏訪市湖岸通 5-11-50	0266-52-6111
伊那中央病院	伊那市小四郎久保 1313-1	0265-72-3121
辰野病院	辰野町辰野 1445-5	0266-41-0238
飯田市立病院	飯田市八幡町 438	0265-21-1255
信州大学医学部附属病院	松本市旭 3-1-1	0263-35-4600
こども病院	安曇野市豊科 3100	0263-73-6700
安曇野赤十字病院	安曇野市豊科 5685	0263-72-3170
長野赤十字病院	長野市若里 5-22-1	026-226-4131
篠ノ井総合病院	長野市篠ノ井会 666-1	026-292-2261
長野松代総合病院	長野市松代町松代 183	026-278-2031
北信総合病院	中野市西 1-5-63	0269-22-2151

長野県精密検査機関

病院名	住所	電話
信州大学医学部附属病院	松本市旭 3-1-1	0263-35-4600



はっきりとわかるまでにどのくらいかかるの？

おおよそ3か月までに確定診断となります。
赤ちゃんの成長によって個人差がありますが、一般的に詳しい検査（ASSR）で脳波を正確に評価できるのは神経細胞が3か月くらい経って成長した状態が望ましいとされています。全体的な発達がゆっくりなお子さんは、もう少し時間がかかることもあります。

確定診断の結果、「経過観察」となるかもしれませんが、「補聴器」「人工内耳」というお話もできるかもしれません。よりよいことばの発達のためには、難聴をなるべく早く発見し、早く治療することが非常に大切なのです。



子育てについて ～日々のかかわり～



「要再検査」という意味は分かったけど、詳しい検査ではっきりと診断がつくまでの間、どんなことに気をつければいいのか。

子育てについて「特別なこと」は必要ありません。赤ちゃんとのかかわりについて、一緒に考えていきましょう。

1. 赤ちゃんとお話する

赤ちゃんの泣き声に答えながら、お母さんたちはたくさんのお話をしています。

「もうおなかいっぱいになったね」
「くちやくちやくち、うんちでたね」
「もう大丈夫よ。よしよし。ねんね」



語りかけながら、赤ちゃんのほっぺに頬ずりしたり、グューと抱きしめたり、背中をトントンとたたいたりします。すると赤ちゃんは微笑みで返してくれます。

「きもちいい」「うれしいな」を赤ちゃんから発信してくれます。これは、「きこえる・きこえにくい」にかかわらず、全ての赤ちゃんに共通のコミュニケーションです。

微笑みながら応えてくれるお母さんの表情、語りかけられる声の調子、体に感じるリズムやぬくもりは、赤ちゃんの脳と心に届いています。

「聞こえにくいかもしれないなら、声をかけても意味がないかな…」というお母さんもいらっしゃるかもしれませんが、そんなことは全くありません！ご家族が赤ちゃんに向けてたくさんお話しして愛情を示してくれることは、赤ちゃんの成長にとっても大切です。

2. 赤ちゃんがたくさんあそぶ

生後3か月ごろになると首が座り、次に、寝返りを通して「うつぶせ」になったりします。あおむけで「上」しか見えていなかった世界が、360度見渡せるようになって、赤ちゃんの興味は一気に広がります。そばを通る人を目で追ったり、気になった物を振り返ってみたり。

赤ちゃんの視線を確かめながら、「笑顔」をいっぱい引き出しましょう。

「あそぶのは苦手で…」とおっしゃるお母さんもいるかと思いますが、「あそぶ」ではなく「あやす」「笑顔になる」の延長が赤ちゃんにとって何よりの遊びです。

大好きな人とのあそびは、気持ちのキャッチボールです。

【いないいないばあ】



【くすぐりあそび】



【くちびるブルブル】



お母さんの声は、お母さんの「口」から出ていることに気づきます。口を見せながら楽しく遊びましょう

【喃語のまねっこ】



声を出しはじめたら、赤ちゃんの声をお母さんがそのまま真似をします。声を出すことが楽しくなって、赤ちゃんからの発信が多くなります。

3. 人とつながる

家族が増える喜びは、人とのつながりが増える喜びです。おじいちゃんおばあちゃんはもちろんですが、発達健診など地域で赤ちゃんを一緒に見守る保健師さんも、心強いつながりです。

何か心配なことがあればご相談ください。



長野県難聴児支援センターの役割

早期検査を受けることは、生まれてすぐに「不安」に直面するおうちがあることにもなります。不安や戸惑いに寄り添い、一緒に「次への一歩」を考えるための機関として、「難聴児支援センター」が開設されました。

お医者さんと連携してご両親の悩みに応じたり、地域の保健師さんと連携して子育てや発達を支えたり、その子の成長に合わせて、園や学校へのサポートをしたりしています。「きこえにくい」全ての子どもへの応援団です。

主な支援内容

- 耳鼻科受診に同伴する
【付添支援】
- 育児や耳への悩みをきく
【訪問相談】
- 遊びながら支援を考える
【サポート支援】
- きこえに対する理解を促す
【ファミリーセミナー】
- 地域や教育との間をつなぐ
【連携支援】
など



【赤ちゃんのサポート支援】



【ファミリーサポート支援】



お気軽にご相談ください

お子さんの耳の聞こえ、ことばの発達のご相談は…

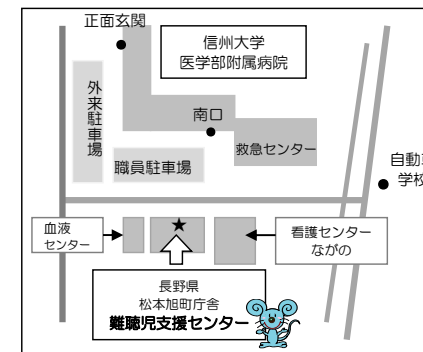
長野県難聴児支援センター

TEL:0263-34-6588

FAX:0263-34-6589

Mail:mimi@shinshu-u.ac.jp

住所：松本市旭 2-11-30
松本旭町庁舎 2階



こんな相談が寄せられています

- ◇新生児聴覚スクリーニングで「要再検査」と言われました。この先、どうしたらいいか不安なのですが…。
- ◇病院では気持ちがいっぱいになってしまい、説明いただいたことをうまく家族に伝えられないのですが…。
- ◇確定診断までの間、家庭でどのようなことに気をつければいいでしょうか？
- ◇片方の耳がきこえにくいとされています。ことばの獲得や発達など、見通しがもちにくいのですが…。
- ◇子どもが補聴器をしています。今度、幼稚園に行くのですが、園で気をつけてもらうことはありますか？

